

## 岡田、諸星さん

### 晴れの県知事表彰を受ける

昭和53年度静岡県知事表彰は、11月3日「文化の日」に県正庁で行われ、市では次の二人の方が受賞されました

#### ●社会福祉功労

岡田晨正さん (62歳・天間)

昭和21年民生児童委員に就任以来、32年有余、要保護世帯の援護と自立更生に献身的な奉仕活動をつづけられ、その間、富士市民生委員連絡協議会会長や福祉協議会副会長の要職を歴任されるととも

に、家庭裁判所調停委員をも重ねられ、民生の安定と社会福祉の増進に貢献されました。

#### ●水火災防護功労

諸星利一さん (65歳・緑町)

昭和14年警防団員を拝命以来、39年有余、消防に尽すいし、強い責任感と犠牲的精神をもって、市民の生



【岡田晨正さん】



【諸星利一さん】

命財産の保護と災害の防護に献身されるとともに、消防団長及び幹部団員として団員の資質の向上や消防力の拡充強化につとめられ、自治体消防の発展と民生の安定につくされました。

## 新総合計画への市民参加 アンケート調査結果がまとめました

=回収率は96.9パーセントの好成績=

富士市総合計画へのアンケート調査がこのほどまとまりました。この調査は総合計画の草案が具体化されていく中で、真に市民のための『まち』づくりをすることを願い、計画への市民参加として28の設問についてアンケート調査を実施しました。そしてここに出された多くの意見は新総合計画策定のため

の貴重な資料として活用することになっています。

調査の対象は、市内有識者321人から確度の高い結果を得るために「デルファイ」手法（前後2回）により調査し、回収も市職員が行ったため、回収率は実に96.9%と高く、321人中、311通の回答を寄せいただきました。おもなものは次のとおりです。

〔問〕新総合計画は市とすべての市民とが一体となって、住みよい豊かなまちをつくりあげていくための道しるべとしてつくられたものです。あなたはこの総合計画について関心をお持ちでしょうか

〔問〕あなたはこれからの富士市がどのような都市になることを望んでいますか。

96%の市民が関心をもつ

=市の新総合計画=

〔答〕これに対し、実に65% (202人) が「非常に関心がある」と答え、31.5% (98人) が「普通程度の関心がある」と答え、総体的には96%以上の人人が新総合計画に強い関心をもっていることがわかりました。

早く『生活環境施設の完備』を

〔答〕この問い合わせに対しては、28.9% (180人) が「恵まれた自然や生活環境施設のととのった都市」と答えつぎに23.5% (146人) が「創造性豊かな人づくりと香り高い文化を育てることができる都市」と答えています。また「だれもが希望をもって働くことのできる都市」と答えた人は全体の131人 (21.1%) ありました。

〔問〕現在の富士市についてあなたは今どのように感じておりますか。

比較的生活が安定しています

〔答〕この問い合わせには、24.8% (77人) が「就労の機会に恵まれ、比較的生活が安定している」と答えており、次に22.5% (70人) が「他都市にくらべ文化水準

市民の健康を守るために医療体制の整備は重要課題の一つですが、今後重点的整備が必要と思われるものは次のどれですか。

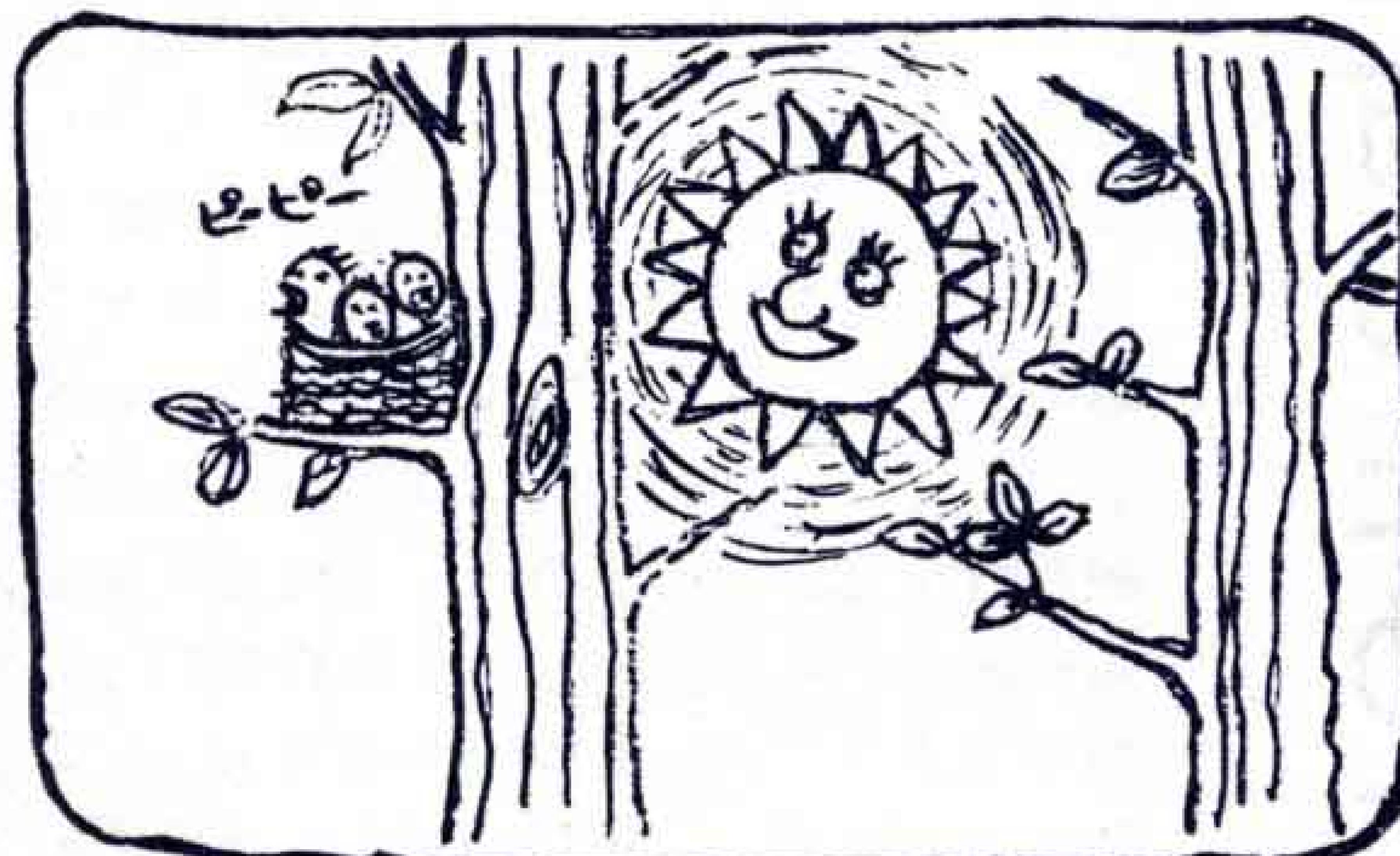
## 『市立中央病院』の機能充実へ 36.5パーセントが強く望んでいます

〔答〕 この医療体制の整備については、36.5%（227人）が「市立中央病院の機能の充実」を望み、つぎに26.5%（165人）が「救急医療体制の充実強化」と、15%（93人）が「医師、看護婦等の確保」と答えています。

〔問〕 都市を災害に強い体質につくりかえるためには、火災、風水害、地震等の防災対策が一体的にすすめられなければならないと思いますが、次の対策の中から、当面重要と思われるものを選んでください。

### 風水害対策がトップで65%パーセント

〔答〕 火災対策と風水害対策および地震対策の三つにわけて、それぞれ上位5位について再度調査を行った集計結果です。まず火災対策のトップは、50.8%（154人）が「火災を未然に防止するための予防査察の強化」と答えており、風水害対策では、65.3%（198人）が「中小河川の総合的な改修、整備」と答え、また、地震対策では、34.3%（104人）が「情報の収集、伝達機能の強化」を希望しています。



〔問〕 都市は、快適で住みよい生活の場でなければなりませんが、都市の快適性を確保するうえで、生活環境施設の整備は、市民にとって常に重要な課題であると考えられます。次の生活環境施設の中で今後とくに力を入れなければならぬものは、どれだと考えますか。

### 約60%が『下水道』の整備を

〔答〕 なんといっても「下水道の整備」がトップで59.4%（180人）と答え、もっとも強い意見を出しています。ついで「道路」が11.9%（36人）、「公園緑地」と答えた人が10.2%の順になっています。

〔問〕 生活環境施設のうちで、ゴミやし尿処理施設、下水処理場等の建設にあたって、地域住民の理解を得るためにどのような対応が必要だと思いますか、最も重要だと思われるものを選んでください。

〔答〕 「公害対策や地域への見かえりを十分考える」と答えた人が全体の33.4%（104人）ともっと多く、次に「地域住民だけでなく全市民的立場から市民討議の機会をつくる」と答えた人が28%（87人）ありました。

〔問〕 水需要の大半を地下水に依存している富士市にとって、地下水保全の成否は、今後の都市発展にとって大きな制約条件にもなりかねないと思います。地下水の塩水化や水位低下等障害を防止し、地下水としての有効利用とその保全をはかるため必要と思われる対策を、次の中から選んでください。

〔答〕 298人が回答をよせ、「工業用水道を整備し、地下水から工業用水道へ水源転換の促進」と答えた人が約半数の50.2%（152人）を占め、次に「地下水の塩水化や水位障害を防止するため地下水採取の規制強化」というのが22.8%（69人）ありました。

〔問〕 教育の充実は、市民にとって常に重要な課題の一つと考えられます。学校教育分野の施策として今後とくに望みたいことは、どのようなことだと思いますか。

### 短大・大学誘致が半数以上を占める

〔答〕 この問い合わせでは、「短大・大学等の高次教育機能の誘致」というのが圧倒的に強く、全体の51.8%（157人）を占めており、ついで「研修活動、研修内容の充実等による教職員の資質向上」が15.5%もありました。

〔問〕 減速経済下にあって新たな対応が迫られている中小商工業の発展をはかるうえで、今後、重要ななるものは何だと思いますか。

### 共同化・集団化の促進へ

〔答〕 一番多く意見があったのは「共同化、協業化及び集団化の促進」で33%（100人）が答えており、ついで「中小企業者の経営意欲の増大」と答えた人が27.4%（83人）、「流通機構の改善」が26.1%（79人）などとなっています。